交換留学生の漢字学習の動機付け強化を目標の一つとした日本事情クラスの実践報告

―個々のテーマでつくる MY KANJI LIST ―

伊　藤　江　美

1.　はじめに

漢字学習は形音義の情報量の多さから，非漢字系の日本語学習者にとって日本語学習上の障壁やストレスになってしまうことがある。筆者が 2022 年後期から 2023 年後期に担当した初級の非漢字系の交換留学生は，会話力や文法項目の習得度からすると読み書きできる漢字の数が少なかった。今まで漢字を習ったことがなく全くの独学だという学生もいた。漢字学習の重要性は認識しているが，形や読み方が複雑で難しく字数が膨大でどこからどのように学習したらいいのかわからないという声も聞かれた。海外では指導者不足で漢字教育に比重をおけない状況が少なくないことや，日本語能力試験などの技能試験を受検しない場合に漢字学習の動機付けが保ちにくいことなどから，漢字学習に時間が割けなかった背景が推察できる。

青山スタンダード科目の日本語科目と日本事情科目は，2023 年度までそれぞれ入門期Ⅰから上級後半Ⅶの 7 段階の日本語能力別に設定されていた。日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは授業の一部の時間を漢字学習にあて，日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの漢字の補習的役割を担っていた(注 1)。前述した日本語能力の傾りを是正するために必要な措置だったと考えられる。そこで，筆者は担当していた日本語Ⅱと日本事情Ⅱのそれぞれの目的に，非漢字系日本語学習者である学生たちの弱点ともいえる漢字学習の動機付けを強化することも加え，授業に漢字学習を取り入れることにした。

以前の日本事情における漢字学習を引き継いだ形ともいえるが，目的が日本語科目の補習ではなく漢字学習の動機付けで，漢字語彙力強化を目標としてお

り，補習ではない。理解・運用できる漢字語彙を増やすことは，初級から中級にレベルアップする際に不可欠であると同時に，日本語や日本文化への理解や関心につながるだろう。交換留学生が日本の生活を楽しむためにも漢字語彙の習得が必要なのではないだろうか。

本稿は日本事情Ⅱにおける取り組みを報告し，漢字の自律的学習の効果および漢字学習の動機付けについて検討しようというものである。

2. 日本事情科目および学習者の概要

日本事情Ⅱでは半期 15 回の授業のうち校外学習とプレゼンテーションを除く 13 回の授業で授業の内容を前半 60 分と後半 30 分に分けて行った。前半は日本の生活・衣食住・娯楽に関するテーマについて画像と振り仮名つきの漢字語彙が記載された資料を用いて説明し，後半は同時履修の日本語Ⅱで週 4 回学習している日本語総合教科書『大地　初級②』に準拠した『やさしい漢字ワーク②』の字体と書字の学習を行った。前半で扱う漢字語彙は日本語総合教科書の既習漢字に関わらず，日本で見聞きする機会があるだろうと考えられる漢字語彙を選んだ。漢字語彙を説明するときは，漢字の意味や成り立ちと語彙の成り立ちや類義語・対義語などを示した。後半は日本語Ⅱで既習の日本語能力試験 N4 相当の漢字で，自律的字体学習法の K-code を用いて字体の解説を行った。K-code については後述する。

日本事情Ⅱの学習者は，アメリカ，カナダ，ドイツ，ハンガリー，ロシア，メキシコ，ブルネイ，韓国の大学からの交換留学生で，非漢字系学習者に類別できる(注 2)。単位を取得した受講者は2022年秋学期10名，2023年春学期6名，2023 年秋学期 8 名である。それぞれ初回の授業でのアンケート調査によると，日本語と漢字の学習歴は半年から 2 年以上，高校・大学の授業の他に家庭教師や独学で勉強したという学習者もいる。また，「日本語の学習の中で特に漢字を勉強したい」という学習者が各期に 2，3 名おり，他の学習者は「今まで漢字学習に力を入れていなかったので，これからは他の勉強と同じように頑張りたい」というように読解・聴解・会話・作文という 4 技能全般の能力をバ

ランスよく総合的に伸ばしたいと希望していた。このように授業開始当初から漢字学習または日本語学習全般に内発的動機付けを持つ学生で構成された日本事情Ⅱのクラス環境は漢字学習に好条件だったといえる。

3. 漢字学習の方法

3.1 意味と読みの学習

日本事情Ⅱの第一の目標は日本の文化や生活への理解を深めることである。90 分間の授業の前半 60 分間が日本の文化や生活に関するテーマの解説で，その中で漢字語彙の成り立ちなども取り上げた。前半で扱う漢字語彙は，伝統文化およびポップカルチャーで頻繁にトピックとなっている言葉や日本での生活の中でよく目にする言葉に加え，敢えて読み方が難しい言葉も取り上げた。学生達に日本の生活の中で目にする漢字語彙に親近感や知的好奇心を持たせるためである。このように，前半では漢字への関心と親近感を高めることを目指した。

3.2 字体と書字の学習

授業後半は基本的な漢字の字体の識別ができ正確でバランスのよい字が書けるような学習を行った。日本語Ⅱの『大地②』に準拠した漢字教材の各課の漢字語彙および書き漢字を取り上げた。日本語Ⅱで学習した課の漢字語彙の漢字を 1，2 週遅れて学習する語彙先習による段階的な漢字語彙学習を行った。段階的な学習によって情報量が多い漢字学習の情報を分散させ，学習活動を階層化し，学習者の心理的負担の軽減を図った。

日本事情Ⅱで用いた『ことばでおぼえる　やさしい漢字ワーク初級①②』は，漢字学習の心理的・時間的負担を軽減した段階的な漢字語彙学習を目指している。漢字語彙の意味・読みの導入・練習を終えてから，漢字の書字練習にうつる。漢字語彙を中心に学習する中で，その漢字の意味や読み方のバリエーションを少しずつ積み上げて漢字を習得していく。そのため，漢字一字の音訓読み・書き順・関連語彙などを一つにまとめて提示していないという特徴があ

る。そして，もう一つの特徴は「読み漢字・書き漢字」の設定である。字体が複雑で正確に書くことが難しいとされる漢字は「読み漢字」として漢字語彙の読み方だけを学習する。「書き漢字」はN4 レベルで字体の複雑性や他の漢字・パーツとの関連性による難易度により 1 課あたり 8 字前後である。

字体の識別と書字の学習にはタハ（2022）が開発した漢字字体学習法 Kanji in 6&4 の K-code を用い，授業の初回に K-code 導入のための動画とワークシートによる導入を行った（注）。K-code は漢字の点画を最小限の 6 つの線に分類したコード（図 1），その線の大小とハネをコード化して示し，一画で続けて書く線の折れはコードに下線を付して表す（図 2）。このように K-code は，

図 1　K-code の基本線と書き方（中村・伊藤 2022，図 1）

コード	サイズ・ オプションの例	ハネ・ オプションの例	1 画ルールの例
H	土　hIH	空　iiHw zI hiH	口　IHIH
I	六　iHzn	月　ZhIw hh	山　IiHi
Z	父　znZN	手　zhH Zw	女　ZNZH
N	下　HIn	代　ZI HNwn	風　ZHNw ziHiH IVn
V	打　hIwv　HIw	ー	長　IhhhH　IvzN
L	四　iHi zI H	光　InzH ZLw	九　hLwZ

図 2　K-code のオプションと例（中村・伊藤 2022，図 2 をもとに筆者作成）

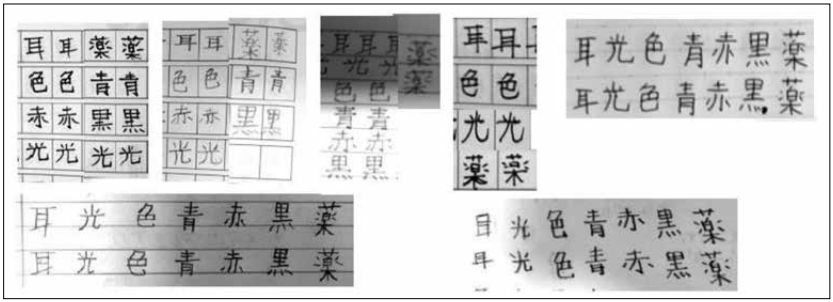

図 3　学習者の書字練習

①漢字の点画の形，②始点の位置，③線の長短，④トメ・ハネ，⑤一画で書く線，⑥書き順などをコード化して簡潔に表すことができる。K-code がクラスで共通言語化すると，教師と学習者の間はもとより学習者間で K-code を用いて字体の説明・質疑応答・添削を行うことができる。

K-code による字体の説明と空書きの後の書き練習では机間巡視によって字体の確認をするが，漢字の点画の形やバランスが適切に書かれているため（図 3），添削する機会は極めて少なかった。MY KANJI LIST を手書きで提出した 3 名の漢字にもミスは見られなかった。手本を見ながら，点画の形やバランスを識別して漢字を正確に書き取ることが習得できたといえるだろう。

4.　課題 MY KANJI LIST

日本事情Ⅱにおいては，漢字字体の識別と書字学習の自律学習のための K-code 学習法も取り入れたが，さらに MY KANJI LIST を作成する課題を設け漢字語彙の意味や関連語彙を調べて漢字の持つ意味と読み方のバリエーションを自ら見出す自律的な漢字語彙学習を促すことにした。

4.1　手順

授業初回のガイダンス時に予告をして，7 回目にスケジュール（表 1）・見本（図 4）・フォーマットを配布し course power でも共有した(注 3)。締切日を

2 回設け，1 回目に提出されたファイルの日本語表記や英訳などにコメントをして，それらを修正した完成版を最終週前に提出させた。リストを作成するのは授業外の課題であるが，授業中に適宜質問を受け付け，質問と回答をクラスで共有した。内容を一部変更して 3 回の修正をした学生もいたが，全員が発表前日までにはファイルを提出した。学期末の授業でリストを 1 冊にまとめたものを配布し，一人 7 分程度のプレゼンテーションを行った。発表形式は自由としたが，全員 PPT などのスライドを使用した。

リストは自分で選んだ 25 項目の「漢字のことば」について，左の列から順に「読み方」「意味」，漢字それぞれの意味を「漢字 1」「漢字 2」「漢字 3」，それらの漢字を使う別の語彙と意味を調べて「ことば 1」「ことば 2」「ことば 3」（以下，関連語彙）に書く（図 4）。学生の時間的負担を軽減するために関連語彙のルビは筆者がつけることにした。

表 1　課題スケジュール

授業回	7・8	9	～	12	～	14	15
課題と教室活動	課題の説明	テーマ締切り	リスト作成	第 1 回締切り	コメント箇所の修正	第 2 回締切り	1 冊にして共有プレゼンテーション

漢字のことば KANJI WORD	読み方 REANDING	意味 MEANING	漢字 1	漢字 2	ことば 1	ことば 2	ことば 3
明治神宮	めいじじんぐう	the Meiji Shrine	神：God	宮：shrine	明るい：bright	治る：get well	神棚：house Shinto altar
外苑	がいえん	the outer gardens	外：outside	苑：garden	屋外：outdoor		
銀杏	いちょう	maidenhair tree	銀：silver	杏：apricot	銀行：bank	銀座：Ginza	
表参道	おもてさんどう	the main approach to a shrine	表：the front	道：road, way, street	表裏：buth sides	表：list, table	道：road

図 4　MY KANJI LIST 見本

4.2　MY KANJI LIST の内容

リストのテーマは多いものから順に，アニメ関連（11 名），電化製品や日用品（3 名），地名・駅名（3 名），スポーツ（2 名），将棋（以下各 1 名），神社，居酒屋のメニュー，日本映画，日本の作家名であった。アニメや漫画・ゲーム・アニメの歌の歌詞などのアニメ関連では主に登場人物の名前などの固有名詞が多く，スポーツや将棋では主にルールや技の名前を取り上げ，自分の好きなものや趣味から選んでいる。また，自分の部屋で日常的に目にする電化製品や日用品，旅行先の場所の名前や普段乗降車する駅名や路線名，居酒屋で目にするメニューなど日本の生活の中での身近なものも多い。

漢字語彙 1 項目あたり 2 字から 6 字の漢字が使用され，25 項目の漢字語彙の漢字数は最少が 30 字，最多が 75 字で，それらの漢字を使った別の漢字語彙は最少が 50 語，最多が 75 語であった。リスト作成に際し，少なくとも漢字語彙 75 語（25 項目に別の漢字語彙を加えた数）の意味と漢字 53 字の意味を調べてまとめたことになる。

漢字は日本語Ⅱで学習している N4 程度の漢字（例えば「様，終，耳」）の他，N1 の漢字（例えば「街，飽，響」）も取り上げられた（図 5）。特にアニメ関連で多画数の複雑な字体（「葉隠透，炉心融解，桃喰綺羅莉」など）が多く，難しい字体や読み方は地名や駅名（「厳島，溜池山王」など），スポーツ（「体捌き，満塁」など），神社（「御神籤，手水屋」など）にもあった。アニメ関連でも漫画の見開き 2 ページの台詞では「皆，自分，街，様，加減」（以上，図 5）や「事件，結局，雰囲気，暇，疲れる」など N4・N3 レベルの頻出語彙がほとんどであった。

関連語彙でも例えば「選局」から「選挙，事局」，「清澄白河」から「清水，明白，銀河」，「残念」から「残虐，執念，名残惜しい」など JLPT のレベルや使用頻度との関連は見られなかった。「肉盛り合わせ」から「肉体，盛大，合図」，「白身魚」から「白状，身長，魚雷，呼び出し」から「呼吸，出発」など元の漢字語彙と音訓の読みが異なる関連語彙も多かった。また，著者が作成した見本の「明治神宮」から「明るい，治る，神棚」，「銀杏」から「銀行，銀座」な

漢字のことば KANJI WORD	読み方 READING	意味 MEANING	漢字 1	漢字 2	漢字 3	ことば 1	ことば 2	ことば 3
飽和	ほうわ	Saturation	飽：Bored	和：Peace		飽き：Weariness	平和：Peace	和風：Japanese style
反響する	はんきょうする	To reverberate	反：Anti	響：Resound		反対：Opposite	影響：Influence	響く：To Echo
耳鳴り	みみなり	Ringing in Ears	耳：Ears	鳴：Ring		初耳：News	鳴る：To Chirp	怒鳴る：To Shout At
真夜中	まよなか	Dead of Night	真：True	夜：Night	中：Middle, inside	深夜：Middle of the Night	同期中：Syncing	中止：Suspension, cancellation
静寂	せいじゃく	Stillness	静：Quiet	寂：Lonely		静か：Quiet	平静：Calm	寂しい：Lonely

漢字のことば KANJI WORD	読み方 READING	意味 MEANING	漢字 1	漢字 2	ことば 1	ことば 2	ことば 3
皆	みな	everyone, everybody, all			皆様：everyone (polite)	皆目：entirely, (not) at all	皆無：nonexistent, none
自分	じぶん	myself, yourself, oneself	自：oneself	分：part, minute of time	出自：origin, birthplace	毎分：every minute	分化：specialization
街	まち	boulevard, street, town			街角：street corner	街道：highway	中華街：Chinatown
様	よう	way, manner, situation			様式：style, form, pattern	殿様：nobleman, lord	様変わり：completely changing
加減	かげん	degree, extent, amount, balance	加：add, increase	減：decrease, reduce	加圧：increasing pressure	減員：reduction of staff	増減：fluctuation

漢字のことば KANJI WORD	読み方 READING	意味 MEANING	漢字 1	漢字 2	漢字 3	漢字 4	ことば 1	ことば 2	ことば 3
畑案山子	はたけかかし	Hatake Kakashi	案：idea / plan	山：mountain	子：child	畑：field	案山子：scare crow	案山子畑：Scare crow of the field	畑地：farmland
日向ヒナタ	ひゅうがひなた	Hyuga Hinata	日：sun	向：opposite			日向：Old Japan prefecture	日向（ヒナタ）sunshine / sunny	向上：rise / improvement
奈良鹿丸	ならしかまる	Nara Shikamaru	奈：what?	良：skilled	鹿：deer	丸：round	奈良：Nara prefecture	良質：good quality	
自来也	じらや	Jiraya	自：oneself	来：next	也：to be		自来也：folklore character	"Young thunder"	
綱手	つなで	Tsunade	綱：rope	手：hand			綱手：mooring rope	character from same folklore	
大蛇丸	おろちまる	Orochimaru	大：big	蛇：snake	丸：round		大蛇：big snake	蛇行：zigzagging	

図 5　MY KANJI LIST の一部

ど関連が説明しやすい基本語彙と同様の「表参道」から「代表，参加，鉄道」，「始発」から「年始，開発」などの他，「半熟玉子」から「半島，熟語，玉蜀黍，子宮」，「私立高校」から「滅私，不成立，残高，校閲」など言葉の拡がり方がより大きいと感じられるものもあった。このように著者の想定以上に様々な漢字語彙が取り上げられた。

4.3　プレゼンテーションによる共有

プレゼンテーションは成績評価に入れず，英語で行うことにした。リストの内容を共有することが目的であり，最終週に楽しいリラックスした時間の中で共有や振り返りをするためである。発表に使われたスライドは，学習者各自が内容に合った画像を効果的に配置しデザイン性が高くわかりやすい内容で，発表者以外の学生達は聴き入り，メモをとる学生もいた。

発表の中で課題を通した気づきについて話した学生もいた。「はたけカカシ，奈良シカマル，日向ヒナタ」など本来漢字書きではない登場人物名の漢字を調べたことについて，カタカナでは意味がわからなかったが，漢字に変換して意味を調べたことでネーミングの面白さに気づいたという発言や，アニメソングの歌詞の「飽和」から「飽き，平和」，「反響」から「反対，影響」，「耳鳴り」から「怒鳴る」，「静寂」から「平静，寂しい」などの言葉の拡がりがアニメの世界観をより強く反映し，歌詞の深さが理解できたことで，ますますアニメソングが好きになったという語りなどに賛同が多く，拍手が起こった（図 5）。発表後に英語や日本語で自由に感想を言い合った内容を以下にまとめた(注 4)。全体的にポジティブな内容が多く，知的好奇心や有能感や楽しさを表す発言（波線）は，内発的動機付けの測定尺度の項目であり，動機付けが高まっているといえる。

・漢字は面白いと思う。
・難しい漢字の意味や言葉を知ることができて，自分が誇らしい。
・私も他の人も多くの漢字の言葉をレポートできて素晴らしいと思った。
・かっこいい漢字や漢字の言葉があると思った。かっこいい漢字の言葉をも

っと知りたい。
・一つの漢字がいろいろな言葉に使われるのが面白いと思った。
・アニメや漫画の登場人物名の漢字の意味を知ることで，その人物の印象や性格などが名前に表されていることに気づき，登場人物や人物間の人間関係がより深く理解できた。他のアニメも調べたい。
・漫画の中には，台詞の漢字の意味が半分以上理解できるものがあるということがわかったので，日本語で漫画を読んでみたい。

5. まとめ

MY KANJI LIST で学生が調べた漢字語彙および関連語彙には，固有名詞以外でも日本語の授業で取り上げないような語彙が散見され，学生が関心を持っている語彙と日本語教材の語彙との間のギャップを知ることができてよかった。学生達は教科書に載っている基本的な漢字語彙ではなく，自ら選んだ漢字語彙と出会えたのである。著者の想定以上に様々な関連語彙が取り上げられたことは驚きでもあった。

それは，調査に IT や AI を用いることによる効果だと推察できる。IT や AI の翻訳・検索機能を用いてあげられた複数の関連語彙について検討する時間が楽しく，語彙を調べる時間より考えて選ぶ時間の方が長かったという話を聞き，著者の狙いと違っていて驚いた。つまり，語彙を調べる手間がかかる分だけ記憶に残り定着するのだから調査に時間がかかることはやむを得ないという著者の予想に反し，実際は調査自体に時間はかからず語彙の意味や関連を理解し検討することに時間がかかり，結果的に漢字や漢字語彙の深い理解に繋がったということである。

想定外の成果は他にもあり，学生から好きなアニメの中でどれを選択するか迷っていること，大学のサークルや部活動や大学以外の道場でスポーツに熱心に取り組んでいること，普段の生活の中の漢字に関心を持ったことなどの話が聞けた。学生同士でもアニメの登場人物の漢字名の意味や，他のアニメに同じ漢字名や同じ漢字が使われた名前があるなどの漢字の情報交換をしていた。

このように，日本事情Ⅱの授業において漢字学習への動機付け強化を図った MY KANJI LIST の課題は，学生の漢字や漢字語彙への関心を高める漢字自律学習としての成果が得られたと考えられる。テーマ・漢字語彙・関連語彙の範囲や条件を設けず，学生に自由に選ばせたことで，学生達が楽しんで取り組めたのではないかと思う。漢字学習が非漢字系学習者にとってストレスではなく楽しみになることを目指しているが，今回の課題を通して，それが AI を使うことによって実現する可能性も見出せた。今後も非漢字系学習者の漢字学習の動機付けを高めることを目的とした教材や課題を日本語および漢字の学習段階に応じて検討していきたい。

注

(注 1) 又平（2024）が交換留学生の日本語技能科目の内容についてまとめ，日本事情科目の位置づけと枠組みについての変遷を詳しく解説している。参照されたい。なお，2024 年度から「日本事情」を引き継いだ「日本の社会と文化」はレベル別ではなく，英語クラスと日本語クラスが設置された。

(注 2) 韓国の学生本人から，初等・中等教育機関で漢字を習った経験がなく，大学の日本語科目の中で初めて漢字学習をしたという話を聞き非漢字系学習者とみなした。また，日本国籍や日本での居住経験を持つ学習者はいなかった。

(注 3) 実際に共有したスケジュールと説明は英語で書いたもので，図 1 は一部分を日本語にしてまとめたものである。

(注 4) 日本語による発言は筆者が要点をまとめ，英語による発言は筆者が日本語訳をして書いた。

参考文献

石井英真（2002）「『改訂版タキソノミー』によるブルーム・タキソノミーの再構築―知識と認知過程の二次元構成の検討を中心に―」『教育方法学研究』28 巻，pp.47-58

海保博之・柏崎秀子（2002）『日本語教育のための心理学』新曜社

タハ，シヌーシ・イマーン・モヒーエルディン（2022）「非漢字系日本語学習者のための日本漢字の字体・字形分析と学習法」拓殖大学言語教育研究科博士論文

中村かおり・伊藤江美（2022）「線の識別力を高める漢字字体学習法『K コード』の効果と課題―学習者および教師への意識調査から―」『拓殖大学日本語教育研究』第 7 号 55-76

中村かおり・伊藤江美・梅津聖子・牧野智子・森泉朋子（2018）『ことばでおぼえるやさしい漢字ワーク　初級』スリーエーネットワーク

ボイクマン総子（2015）「非漢字圏学習者に対する漢字導入方法の一提案――「意味と字形」を「読み書き」に先行させ推測力を高める指導法――」『日本語学』34 巻 5 号，

交換留学生の漢字学習の動機付け強化を目標の一つとした日本事情クラスの実践報告
―個々のテーマでつくる MY KANJI LIST ―

pp.138-149
又平恵美子（2024）「日本事情クラスで Japanese Culture を体験する――校外学習での試み――」『青山スタンダード論集』第 19 号 67-80
溝上慎一の教育論「用語集」smizok.net/education/subpages/a-glossary.html（2024 年 9 月 10 日閲覧）
最上多美子・中込和幸・亀島信也（2009）「内発的動機付け尺度（Intrinsic Motivation Inventory）日本語版作成」『日本心理学会大会発表論文集』73（0）